

## 講演会・講習会

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ [www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html](http://www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/koen-boshu.html) をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHP などをご確認下さい。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、本誌に掲載された討論会に関する情報は、下記本会ホームページからご覧になることができます。  
[www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html](http://www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html)

## 第370回液体クロマトグラフィー研究懇談会

—HPLCとLC/MSにおける最適化の基礎と実際—

**主催** 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

**協賛** 日本化学会

**会期** 4月27日(水)13時~17時15分

**開催方式** オンライン

**参加申込締切** 4月20日(水)(入金締切時刻:15時まで)

HPLC, LC/MSでは広範囲にわたる分野の試料を扱いますが、これら試料のマトリックスは単純なものから極めて複雑なものまで、千差万別であり、また分析種も多岐に及びます。HPLC分析を成功させるためには、試料マトリックスおよび分析種の情報に基づき、前処理、分離、検出を最適化することが必要です。本例会では、これら最適化における基本的な考え方、実践的なコツやポイントについてご講演いただきます。

**講演**

講演主題概説(オーガナイザー)(島津総合サービス) 三上博久

1. 基本パラメーターと分離最適化の基礎(島津総合サービス) 三上博久
2. サンプル前処理における最適化(日本ウォーターズ) 島崎裕紀
3. 逆相クロマトグラフィーにおける最適化(ジーエルサイエンス) 鈴木幸治(LC分析士四段, LC/MS分析士四段)
4. HILICモードの分離について~逆相モードとの相違など(クロマニックテクノロジー) 長江徳和(LC分析士二段)
5. 検出の最適化におけるポイント(アジレント・テクノロジー) 熊谷浩樹
6. LC/MSにおける最適化のポイント(エムエス・ソリューションズ) 高橋 豊
7. 総括:HPLCとLC/MSにおける最適化の基礎と実際(東理大) 中村 洋

**参加費** 3,000円

**懇親会** オンライン懇親会

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ** 141-0031 品川区西五反田1-26-2 五反田ハイツ304号(公社)日本分析化学会・液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会 電話(03)3490-3351 E-mail: [nakamura@gls.co.jp](mailto:nakamura@gls.co.jp) <https://forms.gle/D11z8vf2raKmYsP8A>

## 第9回慶應有機化学若手シンポジウム

**主催** 慶應有機化学若手シンポジウム実行委員会

**協賛** 日本化学会

**会期** 5月7日(土)12時30分~18時

**開催方式** オンライン

**参加申込締切** 4月28日(木)

1. 意識をハックする分子の創製(筑波大 WPI-IIS) 斎藤 毅
2. 立体配座制御に着目した糖質化合物の化学合成(東農大生命) 若森晋之介
3. 種特異性の高い植物と送粉者系の共種分

化機構の解明を目指して(岐大応生) 岡本朋子

4. 外部刺激に応答して色や形を変化させる機能性分子の開発(慶大理工) 三浦洋平
5. 高反応性化学種によるタンパク質修飾の反応空間制御(東北大学際際) 佐藤伸一
6. 不均一な反応場でのその場修飾によるπ共役分子集積材料の開発(NIMS) 高井淳朗
7. 計算化学による反応機構解析と機械学習による予測(慶大理工) 畑中美穂
8. アニオン中間体のデザインに基づく分子変換反応の開発(東北大院理) 近藤 梓

**参加費** 無料

**参加申込方法** E-mail

**申込先・問合せ** 223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1 慶應義塾大学理工学部化学科 松丸尊紀 電話(045)566-1738 E-mail: [matsumaru@chem.keio.ac.jp](mailto:matsumaru@chem.keio.ac.jp) <https://www.applc.keio.ac.jp/~y-miura/KOS/index.html>

## 22-1 超分子研究会

### 再生可能資源をベースとした機能性材料の創製

**主催** 高分子学会超分子研究会

**協賛** 日本化学会

**会期** 5月13日(金)13時~17時

**開催方式** オンライン

**参加申込締切** 5月6日(金)12時

**参加費** 企業5,500円, 大学・官公庁3,300円, 学生1,100円(税込)

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ** 王 春恵 <https://member.spsj.or.jp/event/>

## 塗料講演会

### 各種塗料の最新動向(環境)

**主催** 色材協会関東支部

**協賛** 日本化学会

**会期** 5月20日(金)

**開催方式** オンライン・対面併催

**会場** 東京大学駒場リサーチキャンパス生産技術研究所コンベンションホール(目黒区駒場4-6-1) [交通] 小田急線・東京メトロ千代田線「代々木上原」駅より徒歩15分, 京王井の頭線「駒場東大前」駅より徒歩15分

**参加申込締切** 5月10日(火)まで, または会場(40名)・オンライン(60名)になり次第

1. 路面用機能性塗料(神東塗料) 金子貞之
2. 塗布型ペロブスカイト半導体を用いる光電変換素子の開発(桐蔭横浜大) 宮坂 力
3. 機能性粉体塗料(大日本塗料) 沖殿航紀
4. 船舶塗料メーカーとしての環境対応(日本ペイントマリン) 畑中照久
5. パイオプラスチックの開発最前線(阪大) 宇山 浩

全5講

**参加費** 会員(協賛学協会会員共)20,000円, 会員外33,000円

**参加申込方法** E-mail

**申込先・問合せ** 150-0013 渋谷区恵比寿3-12-8 一般社団法人色材協会 事務局 電話(03)3443-2811 FAX(03)3443-3699 E-mail: [admin@jscm.or.jp](mailto:admin@jscm.or.jp) <http://www.shikizai.org/>

[shikizai.org/](http://shikizai.org/)

## プラズマ分光分析研究会 第115回講演会

—金属を支える分析技術—

**主催** プラズマ分光分析研究会

**協賛** 日本化学会

**会期** 5月20日(金)10時~17時

**開催方式** オンライン・対面併催

**会場** 大阪産業創造館(大阪市中央区本町1-4-5) および Zoom によるオンライン [交通] Osaka Metro 中央線・堺筋線「堺筋本町」駅徒歩5分

**参加申込締切** 5月6日(金), ただしオンラインは当日参加も可能。定員:〈会場〉定員(50名)に達し次第(変更になる場合あり), 〈オンライン〉300名

私たちの生活は様々な金属材料, 金属製品によって支えられている。分析技術は、それら金属の製造の際の品質管理, 事故・クレーム対策, 新製品開発などにおいて重要な役割を果たしており、分析技術に支えられているといっても過言ではない。本講演では、金属分析のための新しい前処理技術から、製品の品質管理, 問題解決におけるアプローチ, 製品開発における分析面からの制御技術への展開など、金属材料・製品に寄与する分析技術について紹介する。

1. 真空アーク蒸着法によるc-BN膜合成条件のプラズマ発光分光法を用いた検討(大阪産業技術研) 上田侑正
  2. 持続可能な環境調和型社会の実現に向けた「溶かすことから始める金属分析技術」(京都産総研) 南 秀明
  3. 2022年プラズマ分光分析研究会各賞授賞式および奨励賞・技術賞受賞講演
  4. 高選択性分離剤を利用した高マトリックス中微量元素分析(ジーエルサイエンス) 古庄義明
  5. 前処理技術を活用した微量成分分析(仮)(コベルコ科研) 奥宮朋和
  6. 造幣局における分析技術と品位証明(造幣局) 藤本亮二
- 参加費** 会員1,000円, 非会員3,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員2,000円, 要旨集のみの購入1冊1,000円
- 参加申込方法** Web <https://plasma220520.peatix.com/>
- 申込先・問合せ** 226-8502 横浜市緑区長津田町4259-J2-32 13階1303号室 プラズマ分光分析研究会事務局 大関杏子 電話/FAX(045)924-5688 E-mail: [ozeki@plasma.es.titech.ac.jp](mailto:ozeki@plasma.es.titech.ac.jp) <http://plasma-dg.jp>

## 第33回万有仙台シンポジウム

**主催** 万有仙台シンポジウム組織委員会

**後援** 日本化学会

**会期** 5月21日(土)13時~

**開催方式** オンライン・対面併催

**会場** 仙台国際センター(仙台市青葉区青葉山無番地) [交通] JR「仙台」駅より地下鉄東西線「八木山動物公園行」に乗りし、「国際センター」駅にて下車徒歩1分

参加申込締切 4月29日(金)

#### 招待講演

1. 伝統と革新が融合するインドールの化学—作る、使う、見つけ出す(千葉大院薬) 石川勇人
  2. 低配位有機ケイ素化学種の構造有機化学(東北大院理) 岩本武明
  3. 典型金属を基軸とした反応剤・触媒の創成と選択的有機合成(阪大院工) 安田 誠
  4. 基板上合成による高次アセンの合成とグラフェンナノリボンへの展開(奈良先端科技大物質創成科学) 山田容子
- ※ショート講演も実施します。新型コロナウイルスの感染状況によってはオンラインのみの実施となります。

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先 第33回万有仙台シンポジウム事務局 <https://www.msd-life-science-foundation.or.jp/category/symp/sendai>  
 問合せ 980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-11 東北大学大学院工学研究科内 第33回万有仙台シンポジウム事務局 服部徹太郎, 北本雄一 電話(022)795-7263 E-mail: banyu\_sendai33@grp.tohoku.ac.jp

### 第371回液体クロマトグラフィー研究懇談会

—ウイズコロナ時代に求められる  
機器分析環境—

主催 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

協賛 日本化学会

会期 5月26日(木)13時~17時5分

開催方式 オンライン

参加申込締切 5月19日(木)(入金締切時刻:15時まで)

コロナ禍において出社等が制限される中、HPLCやLC-MSに代表される機器分析環境の再構築を余儀なくされた企業や分析機関は多いと思いますが、一方で、あまり変わらない、対策はこれからのという企業も少なからずあるようです。今後も続くかもしれないウイズコロナ時代に、どんな機器分析環境を整えれば良いかを考えてみたいと思います。機器分析メーカーからは提供できる技術についてご講演いただき、ユーザーからは導入事例についてご講演いただきます。

#### 講演

講演主題概説(オーガナイザー)(栗田工業) 榎本幹司

1. リモートワーク環境における分析業務の効率化(島津製作所) 西村弘臣
2. デジタルトランスフォーメーション時代におけるデータの有効活用(アジレント・テクノロジー) 小林聡和(LC分析士初段取得予定)
3. 分析機器の管理とHPLCユーザーの業務効率向上の提案(日立ハイテクサイエンス) 清水克敏(LC分析士二段, LC/MS分析士初段)
4. 受託分析機関における災害及び感染症への対策(日本食品検査) 橋本規(LC分析士二段, LC/MS分析士四段)
5. ウイズコロナ時代に対応した研究所を目指して(栗田工業) 榎本幹司(LC分析士三段, LC/MS分析士三段)

6. 総括:ウイズコロナ時代に求められる機器分析環境(東理大) 中村 洋(LC分析士五段, LC/MS分析士五段)

参加費 3,000円

懇親会 オンライン懇親会

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 141-0031 品川区西五反田1-26-2 五反田ハイツ304号(公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会 電話(03)3490-3351 <https://forms.gle/aLPWNmBbx6MT1MHG7>

### 構造活性フォーラム2022

—In silicoアプローチによる毒性予測研究  
および周辺分野の現状と展望—

主催 日本薬学会構造活性相関部会

協賛 日本化学会

会期 6月3日(金)10時~17時

開催方式 オンライン

参加申込締切 5月20日(金)

#### 基調講演

毒性発現メカニズムに基づく一般化学品の毒性予測 —AI-SHIPSプロジェクト(奈良先端科技大) 船津公人

#### 講演

1. Applicable Artificial Intelligence Method to Drug Metabolism and Pharmacokinetics — Comparison of Various Methods for Metabolic Active Sites (Otsuka Pharmaceutical Development & Commercialization, Inc.) 笹原克則
2. 大規模変異異性データを用いた第二回 Ames/QSAR 国際チャレンジプロジェクト(医薬品食品衛生研) 古澤彩子
3. AI創薬の基盤とデータ統合(阪大蛋白質研・医薬基盤健康栄養研) 水口賢司
4. 拡散方程式のADMET予測モデルへの適用(武田薬品工業) 日高 中
5. 副作用研究におけるAIの可能性(京大院医科) 奥野恭史

参加費 一般会員・関連学会員1,000円, 非会員2,000円, 学生無料

参加申込方法 Web

申込先 構造活性フォーラム2022実行委員会 <http://www.qsarj.org/forum2022>

問合せ 204-8588 清瀬市野塩2-522-1 明治薬科大学医療分子解析学研究室 構造活性フォーラム2022実行委員会 植沢芳広(実行委員長) 電話(042)495-8983 E-mail: uesawa@my-pharm.ac.jp

### 第56回高分子の基礎と応用講座

—わかりやすい高分子入門—

主催 高分子学会関西支部

協賛 日本化学会近畿支部

会期 6月9日(木), 10日(金)

開催方式 オンライン

参加申込締切 定員(150名)になり次第

1. 高分子とはなにか:高分子の現在・過去・未来を考える(阪大院工) 松本章一
2. 高分子合成と反応(1) 高分子の生成反応, 合成法(神戸大院工) 南 秀人
3. 高分子合成と反応(2) 一各重合法の特徴, 高分子の構造制御, 高分子反応(近畿大理工) 須藤 篤

4. 高分子の固体構造(神戸大院工) 西野 孝
5. 高分子のレオロジー(京工織大材料化学) 浦山健治
6. 溶液中の高分子鎖の形態と物性(阪大院理) 寺尾 憲
7. 高分子の分析(名工大院工) 大谷 肇
8. 表面・界面・接着(関西大化学生命工) 宮田隆志
9. プラスチック—特性と成形加工(阪技術研) 山田浩二
10. 高分子バイオマテリアルと再生医療(国立循環器病研究セ) 山岡哲二

参加費 会員25,000円, 日本化学会会員25,000円, 協賛団体25,000円, 官学8,000円, 学生3,000円, 非会員40,000円

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 611-0011 宇治市五ヶ丘 京都大学化学研究所 高分子材料設計化学研究領域内 高分子学会関西支部 電話(080)6769-7933 E-mail: kansai@spsj.or.jp <https://spsj.or.jp/branch/kansai/>

### 第43回光化学若手の会

主催 第43回光化学若手の会実行委員会

共催 日本化学会

会期 6月10日(金), 11日(土)

開催方式 オンライン

参加申込締切 5月6日(金)

主題 光化学全般(有機・無機光化学, 光機能分子・材料, 光触媒, イメージング, 分光, 計算科学など)

発表形式 講師による講演, 学生ポスター発表。優秀ポスター発表者にはポスター発表賞を授与いたします。

講師 鳥本 司(名大), 石井あゆみ(帝京科大), 上田純平(京大), 重光 孟(阪大), 谷 洋介(阪大), 原淵 祐(北大), 宮田潔志(九大)

参加費 無料

参加申込方法 Web

申込先・問合せ 182-8585 調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報理工学研究科 平田修造 電話(042)443-5264 E-mail: shuzohirata@uec.ac.jp <https://uec-hirata.net/43rdphotochemistrywakate/>

### 2022年度「ぶんせき講習会」(基礎編その2)

—化学分析の基礎講座~実験用基本器具,  
マイクロピペット, 電子天びん,  
およびpHメーターの原理と使い方—

主催 日本分析化学会近畿支部 日本分析化学会近畿支部近畿分析技術研究懇談会

協賛 日本化学会近畿支部

会期 6月17日(金)10時~17時

開催方式 対面式

会場 (株)島津製作所・関西支社(梅田) マルチホール(大阪市北区芝田1-1-4 阪急ターミナルビル14階)(交通) 阪急「梅田」駅下車すぐ, JR「大阪」駅・地下鉄「梅田」駅より徒歩5分

参加申込締切 6月10日(金)定員(20名)になり次第。6月11日(土)以降のキャンセルは不可

1. [講義] 実験用基本器具の原理と取扱い方

- (神戸大院海事) 堀田弘樹  
 2. マイクロピペットの取扱い方と管理方法 (実習付き) (エー・アンド・デイ) 石塚英樹  
 3. 電子天びんの原理と取扱い方 (実習付き) (島津製作所) 浜本 弘  
 4. pHメーターの原理と取扱い方 (実習付き) (堀場アドバンステクノ) 桑本恵子

**対象** 学生や新入社員および基礎から学びなおしたい方

※コロナウイルスの感染状況により中止する可能性があります。変更などの詳細は、下記近畿支部 HP にてご確認ください。

**参加費** 日本化学会・主催・協賛団体所属会員 7,000 円, 学生 4,000 円, 会員外 11,000 円

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階 (公社) 日本分析化学会近畿支部 電話 (06) 6441-5531 FAX (06) 6443-6685 E-mail: mail@bunkin.org http://www.bunkin.org/

## 第 28 回化学安全講習会

**主催** 日本化学会近畿支部

**会期** 6月20日(月)10時~21日(火)16時30分

**開催方式** 対面式

**会場** 大阪科学技術センター 8 階中ホール (20 日(月)), 大ホール (21 日(火)) (大阪市西区靱本町 1-8-4) [交通] Osaka Metro 四つ橋線「本町」駅下車, 25 番・28 番出口を北へ約 5 分, または同御堂筋線「本町」駅下車, 2 番出口を西北へ約 10 分

**参加申込締切** 6月3日(金)

※新型コロナウイルス感染症に関する状況により, 実施方法の変更または中止する可能性があります。

**第 1 日目** 20 日(月)10時~16時

1. 化学物質の発火・爆発危険性について (産総研) 松永猛裕
2. 化学企業における化学物質管理についての課題 (住友化学) 稲若邦文
3. 化学プラントとリスクアセスメント (京業人材育成会) 中村昌允

**第 2 日目** 21 日(火)10時~16時30分

4. 事故事例から考える実験室・作業場の安全管理 (阪大安全衛生管理部) 山本 仁
5. 実験室・作業場における化学物質のリスクアセスメント (阪大安全衛生管理部) 山本 仁
6. 実験で解説する静電気による火災・爆発を防止するための安全対策 (SL 経営) 蒲池正之介

**参加費** 日本化学会会員・協賛団体 32,000 円, 大学官公庁所属 20,000 円, 学生 8,000 円, 非会員 42,000 円

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センター 6 階 日本化学会近畿支部 電話 (06) 6441-5531 FAX (06) 6443-6685 E-mail: csjevent@kinki.chemistry.or.jp https://kinki.chemistry.or.jp/csjevent/enzen22.html

## 第 39 回国際フォトポリマー コンファレンス

—リソグラフィ, ナノテクノロジー,  
フォトテクノロジー  
—材料とプロセスの最前線—

**主催** フォトポリマー学会 (SPST)

**協賛** 日本化学会

**会期** 6月27日(月)~30日(木)

**開催方式** オンライン

**参加申込締切** 6月26日(日)

**参加費** 一般 35,000 円, 学生 10,000 円

**参加申込方法** Web

**申込先** 第 39 回国際フォトポリマーコンファレンス事務局 <https://www.spst-photopolymer.org/conference/registration/>  
**問合せ先** 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学工学研究院共生応用化学コース 唐津 孝 第 39 回国際フォトポリマーコンファレンス事務局 電話 (043) 290-3366 FAX (043) 290-3401 E-mail: office@spst-photopolymer.org <https://www.spst-photopolymer.org/conference/>

## 高校生による環境安全とリスクに 関する自主研究活動支援事業

**主催** 研究実験施設・環境安全教育研究会 (REHSE)

**共催** 日本化学会

**会期** 7月1日(金)~2023年3月31日(金)

**開催方式** 対面式

**会場** 研究活動は各高校, 2023年3月の成果発表会は東京大学 (文京区本郷 7-3-1) [交通] 地下鉄丸ノ内線「本郷三丁目」駅より徒歩 10 分, 地下鉄千代田線「根津」駅より徒歩 10 分等 (詳細は東京大学 HP を参照)

**参加申込締切** 6月18日(土)

高校生・高等専門学校の学生 (3 年生まで) が, 環境安全やリスクに関連のある研究テーマを決め, 調査・研究を行い, 報告書としてまとめる活動を支援するとともに, 口頭発表および大学等の施設見学をする機会を提供します。具体的な支援として, 研究活動費の支給, 専門家による研究活動への助言, 3 月に東京大学で開催される成果発表会 (口頭発表) や研究施設見学会への招待などをいたします。詳しくは下記 REHSE HP の「高校生の自主研究活動支援」をご覧ください。お申し込みは, 下記 HP にある参加申込書のフォーマットに必要事項を記入して E-mail にてお申し込み下さい。審査後に採択の結果についてご連絡いたします。

**参加費** 無料

**参加申込方法** E-mail

**申込先・問合せ先** 277-8563 柏市柏の葉 5-1-5 環境棟 468 号室 特定非営利活動法人研究実験施設・環境安全教育研究会 (REHSE) 電話 (080) 4383-2007 E-mail: koukousei@rehse2007.com <https://rehse2007.com/>

## 第 59 回アイソトープ・放射線 研究発表会

**主催** 日本アイソトープ協会

**協賛** 日本化学会

**会期** 7月6日(水)~8日(金)

**開催方式** オンライン

**参加申込締切** 7月8日(金) 12 時

**参加費** 一般: 事前参加登録 7,000 円 (税込), 事前以降の参加登録 9,000 円 (税込), 学生無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 113-8941 文京区本駒込 2-28-45 公益社団法人日本アイソトープ協会 電話 (03) 5395-8081 FAX (03) 5395-8053 E-mail: happyokai@jrias.or.jp <https://confit.atlas.jp/guide/event/jrias2022/top>

## 第 67 回物性若手夏の学校

—オンラインでの相互作用。仲間と凝縮,  
新たな相転移へ。—

**主催** 物性若手夏の学校準備局

**後援** 日本化学会

**会期** 8月2日(火)~5日(金)

**開催方式** オンライン

**参加申込締切** 5月9日(月)12時~6月10日(金)23時59分 (予定)

物性若手夏の学校は, 広大かつ急速な広がりを見せる物性物理学の幅広い分野をカバーする日本最大級のサマースクールです。本研究会は, 講義や発表, 他者との交流を通じて, 基礎的な話題と最先端のフロンティアとのギャップを埋め, 大学院生が専門分野を超えた広い視野を持つことを目的とします。講義は 3 時間×3 日間で全 6 テーマ, 3 時間×1 日間で全 12 テーマ開講され, 参加者はそれぞれ前者から 1 テーマ, 後者から 2 テーマを選択, 受講します。また, 研究発表では参加者がそれぞれの研究内容について発表し, 活発な議論を行います。さらに, 参加者どうし, あるいは参加者と招待講演者との交流を図るため, 懇談会や座談会の開催を予定しています。詳細および最新情報は下記 HP をご確認ください。

**参加費** 無料

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 物性若手夏の学校準備局 E-mail: info@cmpss.jp <https://www.cmpss.jp/>

## 第 130 回触媒討論会

**主催** 触媒学会

**共催** 日本化学会

**会期** 9月20日(火)~22日(木)

**開催方式** 対面式

**会場** 富山大学五福キャンパス (富山市五福 3190) [交通] JR「富山」駅南「富山駅」停留所にて 2 系統 (大学前行) に乗車約 15 分→「大学前」停留所下車徒歩約 5 分

**参加申込締切** 下記触媒学会 HP にてご案内  
**発表申込締切** 5月18日(水)

**予稿原稿締切** 7月27日(水)

第 130 回触媒討論会では, 特別講演, 表彰受賞講演, 依頼講演, 口頭発表 (A1 講演, A2 講演), ポスター発表を会期中に 8 会場の予定で開催いたします。また学生会員の A2 講演者を対象とした学生口頭発表賞, 学生会員のポスター発表者を対象とした学生ポスター



発表賞を設定します。□頭発表およびポスター発表を広く募集しますので、下記の申込み方法に従いお申し込み下さい。なお、本討論会では討論会 A のみの開催となります。

□頭発表 A1 講演 (発表 10 分, 討論 5 分),  
A2 講演 (発表 15 分, 討論 15 分)

ポスター発表 2 時間以上 (ポスター発表を別日に設定する可能性があります)

**参加費** 下記触媒学会 HP にてご案内

**参加申込方法** Web

**申込先・問合せ先** 101-0062 千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 3 階 市川真一郎 電話 (03)3291-8224 FAX (03)3291-8225 E-mail: catsj@pb3.so-net.ne.jp https://catsj.jp/catsj-meeting

## “講演会・講習会”欄／“研究発表会—発表募集”欄への投稿について

### ①掲載対象

- ① “講演会・講習会”欄, “発表募集”欄に掲載する行事は, 日本化学会の本部, 支部, 部会, 研究会が, 主催, 共催, 協賛, 後援するものに限ります。
- ② 掲載は, 当会の主催を除き, 事前に共催・協賛・後援依頼申請後, 許諾認可番号を受けたものが対象となります。許諾認可番号のない行事の原稿は掲載できませんのでご注意ください。
- ③ [「化学と工業」誌 “行事一覧” は, 日本化学会ホームページ・イベントカレンダーに掲載されます。

### ②掲載欄

- ① 掲載は, “講演会・講習会”欄かまたは “発表募集”欄のどちらか 1 回に限ります。両方への掲載はできません。
- ② “講演会・講習会”欄に掲載する内容は, “主催者側からの依頼による講演などが中心の行事”の参加募集です。
- ③ “発表募集”欄に掲載する内容は “一般応募による講演などが中心の行事”の発表募集です。

### ③参加登録費

原則として日本化学会個人会員が主催者の会員と同等の条件 (参加費用) で参加できることが化工誌への掲載条件です。参加費の設定が複数ある場合には, 別に本会会員の参加費を明記して下さい。例: ○○学会会員 10,000 円, 日本化学会会員 10,000 円, 共催団体 15,000 円, 非会員 20,000 円

### ④原稿締切日と掲載月

- ① 原稿締切日は, 毎月 25 日です。前月 26 日から当月 25 日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ② 通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの “連絡事項” 欄に明記して下さい。

### ⑤原稿作成と投稿方法

- ① 原稿は専用投稿フォーマットを使用して作成して下さい。
- ② 制限字数は 900 字です。900 字以内であれば掲載料は無料ですが, 超過した場合には超過分 900 字につき 17,000 円の有料掲載となります。
- ③ 専用フォーマット使用方法
  - A) フォーマットに記載されている項目以外に項目が必要な場合は, 「記事内容」欄の中で表記して下さい。
  - B) 数字, 英文字は半角で入力して下さい。
  - C) 機種に依存する文字の注意; 機種に依存したり, インターネットでの転送を保證されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

### 【使用できない文字例】

- ・ 半角カナ; カタカナ, 記号 (約物); ,。 [ ( / 等
- ・ ローマ数字; I II III IV, 丸数字; ①②③④
- ※ アルファベットの I, V, X, Y を組み合わせてローマ数字を表現。 ※ 文字の代わりに (1) (2) の表記を使用。 ※ 組文字は全角 (株) (有) mm での表記にする。
- D) テキスト上で表現できない文字 (外字, 作字) については使用を避けて下さい。なお, 人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は ● で代用し, 投稿フォーマットの “連絡事項” に ● 印の指示を記入して下さい。
- E) 文書中で書式指定 (上付き, 下付き, イタリック体) を希望の場合は, タグ付け (HTML 形式) をして下さい。

【見本】・ 上付;  $P^{2+} \rightarrow P <SUP> 2 </SUP>$   
・ 下付;  $CO_2 \rightarrow CO <SUB> 2 </SUB>$   
・ イタリック; *italic* →  $<I> italic </I>$

- ④ 原稿の作成が終わりましたら, 画面下の送信内容確認ボタンをクリックし, 送信内容をご確認下さい。内容確認後, 送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後, 原稿の校正はできませんのでご注意ください。
- ⑤ 投稿完了後, 受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて, 受付番号, 掲載予定号, 投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は, 正常に原稿が受理されていないおそれがありますので, 必ず受理通知メールをご確認下さい。
- ⑥ 投稿原稿は, 編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。
- ⑦ 送信後に大幅な訂正が生じた場合
  - ① 原稿締切 (当月 25) 日まで; 投稿フォーマットの “連絡事項” 欄に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号, 受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際, E-mail にて三美印刷宛その旨をご通知下さい。
  - ② 原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

### ⑦問合せ

#### 【修正に関する問合せ】

三美印刷 「化学と工業」誌編集部  
電話 (03) 5843-3580 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp

#### 【投稿・請求に関する問合せ】

日本化学会学術情報部 「化学と工業」誌事務局  
E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp